Poster Presentation

Sat. Nov 1, 2025 1:00 PM - 1:50 PM JST | Sat. Nov 1, 2025 4:00 AM - 4:50 AM UTC | venue(Kanamori sangyo hall)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-41] テキストマイニングを用いた特殊詐欺アポイント電話の類型化とその時空間的分布特性

*Yuri Murayama[1], Hiroki M Adachi[2], Tomoki Nakaya[3] (1. Tohoku Univ. Graduate School of Environmental Studies, 2. Tohoku Univ. Graduate School of Environmental Studies/International Research Institute of Disaster Science, 3. Tohoku Univ. Graduate School of Environmental Studies/Graduate School of Science)

Keywords：特殊詐欺、テキストマイニング、アポイント電話、犯罪手口、時空間分布

特殊詐欺は手口の多様化により被害が拡大し，2024年には被害額約710億円に達した。従来の分類では近年の新たな欺罔手口を十分に捉えられず，手口別にみたリスクの把握が困難である。本研究は，特殊詐欺アポイント電話約1.6万件(2016年1月～2023年3月)の欺罔団体名テキストを対象に，テキストマイニングによる類型化を試みた。形態素解析により欺罔名を分割し，fastTextにより各形態素の意味的位置を数値ベクトル化した。文同士を比較する際には形態素間の類似度のうち最も高い値を採用する独自手法を用いクラスター分析で類型化を実施した。これにより，似た意味の欺罔であっても表記揺れや言い換えを跨いでまとまりやすくなり，類型化の精度向上を図った。得られた類型ごとに小地域単位で集計した結果から手口別の時空間的分布特性を把握し、被害予測や対策資源配分との関係について検討した。

©一般社団法人地理情報システム学会